

鹿市医狂壇



539 樋口 一風 選

兼題「晩酌(だいやめ)」

天

晩酌を楽しみ爺あ今日も昼寝

伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) 美味め肴ん夢を見ながら

(評) 歳を取ると何故か眠くなります。

特に昼食後はうつらうつらとすることが多くなりました。悠々自適の最近、昼寝から覚めてから散歩でもして小腹を空かして、晩酌を待っているのが爺さんの日課になりました。昼寝をしている爺さんを見ていると、晩酌を楽しみに昼寝をしているかのように見えました。でも邪推かも分かりません。爺さんの

薩摩狂句鑑賞 178

薩摩狂句曆

三條風雲児著 から

前借りが田舎ん親父す萎えさせ

上田 格

給料の前借りをするためには、もっともらしい理由付けをしなければならぬ。そこで、「実は田舎の親父が、中風で倒れたものですから」と言ったのである。天皇在位六十年記念の貨幣の引き替えが始まったが、十万円というのは、ちょっと臍繰りというわけにはいくまい。ひよっとすると、この句を地で行くようなことがあるのかも知れない。

紙の雪田舎芝居いな団子で舞

村田 出目坊

にわかづくりの素人芝居であろう。ちらちら降らなければならぬ紙吹雪が、ひとかたまりずつ落ちて来たのである。芝居そのものも、およそ見当がつこうというもの、しかし、見ている人々は、結構楽しんでるのかも知れない。ところで今日は、北京中国京劇団の訪日公演「孫悟空」が、鹿児島市民文化ホールである。こちらは一流中の一流。

名誉のために。

地

上町支部 吉野なでしこ

晩酌で疲れも取れたち早よ起き

(唱) 丁度い飲んで健康第一

(評) 嗜む程度の酒という言葉がありませんが、この人は、正しく嗜む程度で晩酌で深酔いなどはしたことがありません。

だから朝も、さわやかに目が覚めて有意義な一日を過ごしています。多分休肝日もばっちり取り健康そのものなのでしよう。

早寝早起き。このような健康的な晩酌をしたいものです。

人

紫南支部 加治屋犬好

晩酌も人肌で爛ぬしつ月見

(唱) オンザロックじゃ少すスースしつ

(評) 月見の頃には、真夏日の暑さも遠のき、夜は過ごしやすくなってきました。ロックで飲んでいた焼酎も爛をして飲みたくなります。

特に縁側で飲むとスースするので爛をして飲みました。まだ熱燗には早いので人肌ぐらいが丁度です。通の飲み方ですよ

薩摩狂句誌 洪柿八四三号雑吟から

西ノ園ひらり

十五夜どん手を握るいも見え過ぎ

(唱) 月が青かでそん気いなたて

横杵爺と語つみたなあ馬が合

(唱) 両巨頭じゃつち世間じゃ噂

米元 年輪

小歌詩の稲刈や婆ん鎌め頼

(唱) 二歌幅じゃ嵌るらん機械

秤ゆ出つ待つ長げこつじゃ亭主人料理

(唱) 子供衆どまごころいとけ寝

谷口 すずめ

子育てん知恵も書つただ荷が届

(唱) ヒントも貰った新人母親

前田 一天

掛け間違目覚し時計や夜中け鳴

(唱) 魂しゃひつ飛で寝付た三時

上田 喜八郎

強よ生きれ奮励ゆ掛けちよい親父の遺影

(唱) 弱気ん時な丸で鉄槌

山本 自在鉤

うか。

因みに、人肌爛とは約三十五度。熱燗は約五十度くらいとか。

五客一席

紫南支部 二軒茶屋電傳

女房ん目を盗だ晩酌めけ酔

(唱) 飲んせかすればこつちん物よ

五客二席

上町支部 吉野なでしこ

晩酌は毎晩すつどん精勤

(唱) 飲兵衛じゃつどん仕事ちや名人

五客三席

伊敷支部 谷山五郎猫

米寿ずい晩酌すうち古希ん爺

(唱) 卒寿ずいどま大丈夫じゃつが

五客四席

上町支部 吉野なでしこ

晩酌あチビチビじゃつて直き減

(唱) 長す飲ん居ればそや当たい前

五客五席

伊敷支部 谷山五郎猫

休肝日関係や無かち毎晩焼酎

(唱) 週い二日どま焼酎を抜こや

前田 一天

義理を欠た子の名前でそつち包ん金

夢を抱た計画ぬ助くい竹筒金

守銭奴じゃんけん迄も石す出せ

楠八重 溪流

一応は受け付けますち聞た苦情

頑固爺じ調子合わすちや相当なこ

伊地知 孝

傘寿なつ閻魔ん腰が見え隠れ

儲け話し乗った我が欲か柵ね上げ

狂句募集

◎新年号

題吟「大吉(だいきつ)」

締切 令和6年12月4日(水)

◎2号

題吟「振袖(ふいそで)」

締切 令和7年1月7日(火)

◇選者 樋口 一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募くださいれば選者が適宜漢字をあてさせていただきます。

◇応募先 〒八九二一〇八四六

鹿児島市加治屋町三番一〇号

鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係

TEL 〇九九-二二六-三三三七

FAX 〇九九-二二五-一〇九九

E-mail: ihou@city.kagoshima.ned.or.jp